

70日間チャレンジウォーキング事業内スマートフォン用ウォーキングアプリ仕様書

1 業務概要（詳細は受託者と協議のうえ決定）

- (1) 既存アプリの改修（もしくは新規アプリの開発）による市制施行70周年記念専用スペースの製作
 - (2) 随時、アプリ維持管理・改修・バージョンアップ
 - (3) コールセンター設置等によるアプリ利用者への操作方法等サポート
 - (4) 市からの確認事項に対応するヘルプデスクの設置
 - (5) オンライン上での景品授与
 - (6) その他、当該アプリの良好な活用に関する提案
- ※ (2)~(5)について、既に仕組みが存在しており、内容が市の意向に沿えば、市独自でなくても可。

2 履行期間（提案によっては、協議により変更の検討も可能）

- (1) 市独自ページ登録期間 令和6年 9月15日から令和6年12月 9日まで
※ 登録開始の1か月以上前に試験運用を行える状態にし、市・受託者双方で動作等の検証を行う。
その中で、必要と判断された場合、解決するまで調整と検証を繰り返すこと。
 - (2) 市イベント歩数計量期間 令和6年10月 1日から令和6年12月 9日まで
 - (3) 景品申請期限 令和7年 2月14日 ※申請期限が必要な場合
 - (4) 市ページ維持期限 令和7年 2月14日以上
- ※ 当該アプリ専用の利用者サポートチームを作る場合、活動期限は令和7年3月31日とする。しかし、元々存在しているサポートチームで対応する場合や、当該アプリ専用のチームを作成するものの、登録期間終了後には規模を縮小させつつ、元々あるチームにシームレスで業務を移行させる場合などはその限りではない。ただし、いかなる場合でも、事前に計画を市と協議すること。

3 アプリの内容

- (1) iOS13以降およびAndroidOS11以降の全OS（可能な限りそれ以前の物も含めて）に対応しているもの
- (2) App Store、Google Playで該当OS端末利用者が無料かつ容易にダウンロードできるもの
- (3) 歩数計測機能を有し、年齢・性別・住居地域などの状況から、市民の運動傾向を把握できるもの
- (4) 何らかの結果に応じて、最低限の個人情報収集だけで、オンライン上で景品の応募、授与が完結できる機能を有すもの
- (5) 東京都保健医療局保健政策部健康推進課指定のリンクバナー（後日、同課から提供予定）を貼るかURLを記載する等して、同課指定サイトへのアクセスを可能とするもの
- (6) その他、上記以外の機能も付与しているもの（例：健康に関する記録、健康づくりに関する情報の表示、市のウォーキングコース表示、市の名所の表示、など）
- (7) すべての操作が容易で、わかりやすいもの

4 運用について

- (1) 体制
受託者は本アプリの運用管理（サーバ機器類監視、障害対応等）を行うこと。それにあたり、業務を統括する責任者と業務を遂行する担当者を設けて円滑に進めること。特に登録開始直後や計量開始直後等については体制を強化することと、障害発生時等の緊急対応に伴う連絡体制（人員構成、連絡方法、緊急時連絡先、連絡ルート等）を明確にしておくこと。また、それについて市から求めがあった場合、すぐにその段階での状況について報告書を提出すること（媒体については要協議）。

(2) 利用者サポート

インストールや操作方法等の利用者からの問い合わせに対応すること。それにあたり、電子メール等の文字媒体を利用する場合、翌営業日までに回答すること。また、電話・文字いずれの媒体の対応においても、即時解決や助言ができない場合は、返事の期限を明示・明言すること。なお、登録開始直後やそれ以外の連絡が多く入る可能性が高い時期については、体制を強化すること。

(3) ヘルプデスク・障害対応

市担当者からの操作等に関する問い合わせや障害発生連絡に、随時かつ迅速に対応すること。連絡・問い合わせ方法は電話及び電子メール、その他の市・受託者両者にとって適当な方法。最低限の対応時間は平日の9時から17時までとするが、緊急時はその限りではない。

5 景品

- (1) 景品自体や授与条件などの具体的な内容については、市と受託者の協議のうえで決定する。
- (2) 景品を利用者に渡すことについては、受託者が全責任を負う。それに付随して、景品申請期限がある場合、その1か月～2週間前に、景品取得資格がありながら未申請の者には連絡すること。

6 その他

- (1) 外部からの不正アクセスによるデータの改ざんや情報漏洩防止のために必要な対策を講じること。
- (2) 利用者へのアナウンス機能を有する場合は、その内容について事前に市と協議すること。
- (3) 不測の事態に備えて、バックアップを定期的に取り得し、復旧が可能な状態での運用を行うこと。